

平成28年6月21日

各 位

会 社 名 三谷セキサン株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 三谷 進治  
 (コード:5273、東証第1部)  
 問合せ先 取締役管理本部長 阿部 亨  
 (TEL. 0776-20-3333)



**(訂正・数値データ訂正)「平成28年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について**

当社は、平成28年5月13日に発表しました表記開示資料について訂正がありましたのでお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の理由

「平成28年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の発表後に、記載内容に誤りがあることが判明したため、訂正するものであります。

2. 訂正の内容

【サマリー情報】

1. 平成28年3月期の連結業績(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

<訂正前>

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び 現金同等物期末残高
28年3月期	百万円 6,229	百万円 △2,272	百万円 △915	百万円 18,001
27年3月期	6,373	△4,518	△440	15,131

<訂正後>

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び 現金同等物期末残高
28年3月期	百万円 6,175	百万円 △2,272	百万円 △915	百万円 17,947
27年3月期	6,373	△4,518	△440	15,131

【添付資料2ページ】

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

<訂正前>

① コンクリート二次製品関連事業

コンクリート二次製品関連事業につきましては、価格競争の激化等、厳しい経営環境の中で、販売強化に努めました。その結果、当部門の売上高は、520億80百万円(前期比5.3%増)となり、営業利益は、39億72百万円(同6.8%減)となりました。

② 情報関連事業

情報関連事業につきましては、売上高は、67億19百万円(前期比7.8%増)となり、営業利益は、5億95百万円(同12.5%増)となりました。

③ その他事業

その他事業につきましては、売上高は、49億31百万円(前期比17.4%増)となり、営業利益は、14億62百万円(同42.4%増)となりました。

<訂正後>

① コンクリート二次製品関連事業

コンクリート二次製品関連事業につきましては、価格競争の激化等、厳しい経営環境の中で、販売強化に努めました。その結果、当部門の売上高は、520億80百万円（前期比5.3%増）となり、営業利益は、39億72百万円（同2.2%減）となりました。

② 情報関連事業

情報関連事業につきましては、売上高は、67億19百万円（前期比7.8%増）となり、営業利益は、5億95百万円（同12.6%増）となりました。

③ その他事業

その他事業につきましては、売上高は、49億31百万円（前期比17.4%増）となり、営業利益は、14億62百万円（同39.6%増）となりました。

【添付資料3ページ】

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(2) 財政状態に関する分析

② キャッシュ・フローの状況

<訂正前>

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は180億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億69百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の営業活動の結果得られた資金は、62億29百万円の収入（前期は63億73百万円の収入）となり、前連結会計年度に比べ1億43百万円の減少となりました。これは、売上債権の増加が主な内容であります。

(中略)

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期
自己資本比率 (%)	57.0	60.5	61.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	57.6	64.6	46.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	7.6	8.8	<u>6.1</u>
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	1,022.4	1,103.1	<u>1,334.3</u>

<訂正後>

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は179億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億15百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の営業活動の結果得られた資金は、61億75百万円の収入（前期は63億73百万円の収入）となり、前連結会計年度に比べ1億97百万円の減少となりました。これは、売上債権の増加が主な内容であります。

(中略)

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期
自己資本比率 (%)	57.0	60.5	61.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	57.6	64.6	46.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	7.6	8.8	<u>6.2</u>
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	1,022.4	1,103.1	<u>1,322.8</u>

【添付資料14ページ】

5. 連結財務諸表

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

<訂正前>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
仕入債務の増減額 (△は減少)	△868	1,618
その他	506	223
小計	8,932	7,578
利息及び配当金の受取額	110	130
利息の支払額	△5	△4
法人税等の支払額	△2,664	△1,474
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,373	6,229
投資活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,518	△2,272
財務活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△440	△915
現金及び現金同等物に係る換算差額	379	△171
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,793	2,869
現金及び現金同等物の期首残高	13,337	15,131
現金及び現金同等物の期末残高	15,131	18,001

<訂正後>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
仕入債務の増減額 (△は減少)	△868	1,565
その他	506	243
小計	8,932	7,544
利息及び配当金の受取額	110	130
利息の支払額	△5	△4
法人税等の支払額	△2,664	△1,494
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,373	6,175
投資活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,518	△2,272
財務活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△440	△915
現金及び現金同等物に係る換算差額	379	△171
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,793	2,815
現金及び現金同等物の期首残高	13,337	15,131
現金及び現金同等物の期末残高	15,131	17,947

【添付資料16ページ】

5. 連結財務諸表

- (5) 連結財務諸表に関する注記事項  
(セグメント情報等)

<訂正前>

- 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸 表計上額 (注3)
	コンクリート二次製品 関連	情報関連	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	49,441	6,231	55,673	4,200	59,873	—	59,873
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	42	—	42	4,665	4,708	△4,708	—
計	49,484	6,231	55,716	8,865	64,582	△4,708	59,873
セグメント利益	<u>4,261</u>	528	<u>4,789</u>	<u>1,027</u>	<u>5,817</u>	<u>△716</u>	5,101
セグメント資産	35,540	5,125	40,666	8,826	49,493	11,001	60,495
その他の項目							
減価償却費	1,297	242	1,539	330	1,870	19	1,889
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	1,519	316	1,836	2,086	3,922	32	3,955

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境衛生部門、ホテル部門、技術提供収入部門、不動産賃貸収入部門及び太陽光発電収入部門が含まれております。
2. 調整額は、以下のとおりであります。
- (1) セグメント利益の調整額△716百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

<訂正後>

3 報告セグメントの変更等に関する事項（セグメント利益の測定方法の変更）

当連結会計年度より、報告セグメントごとの業績をより適切に評価するために、全社費用の配賦基準を変更しております。なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の配賦基準に基づき記載しております。

4 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸 表計上額 (注3)
	コンクリート二次製品 関連	情報関連	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	49,441	6,231	55,673	4,200	59,873	—	59,873
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	42	—	42	4,665	4,708	△4,708	—
計	49,484	6,231	55,716	8,865	64,582	△4,708	59,873
セグメント利益	<u>4,060</u>	528	<u>4,589</u>	<u>1,047</u>	<u>5,636</u>	<u>△535</u>	5,101
セグメント資産	35,540	5,125	40,666	8,826	49,493	11,001	60,495
その他の項目							
減価償却費	1,297	242	1,539	330	1,870	19	1,889
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,519	316	1,836	2,086	3,922	32	3,955

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境衛生部門、ホテル部門、技術提供収入部門、不動産賃貸収入部門及び太陽光発電収入部門が含まれております。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△535百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

以 上